

***Techtronic age***

---

YAMARI INDUSTRIES, LIMITED

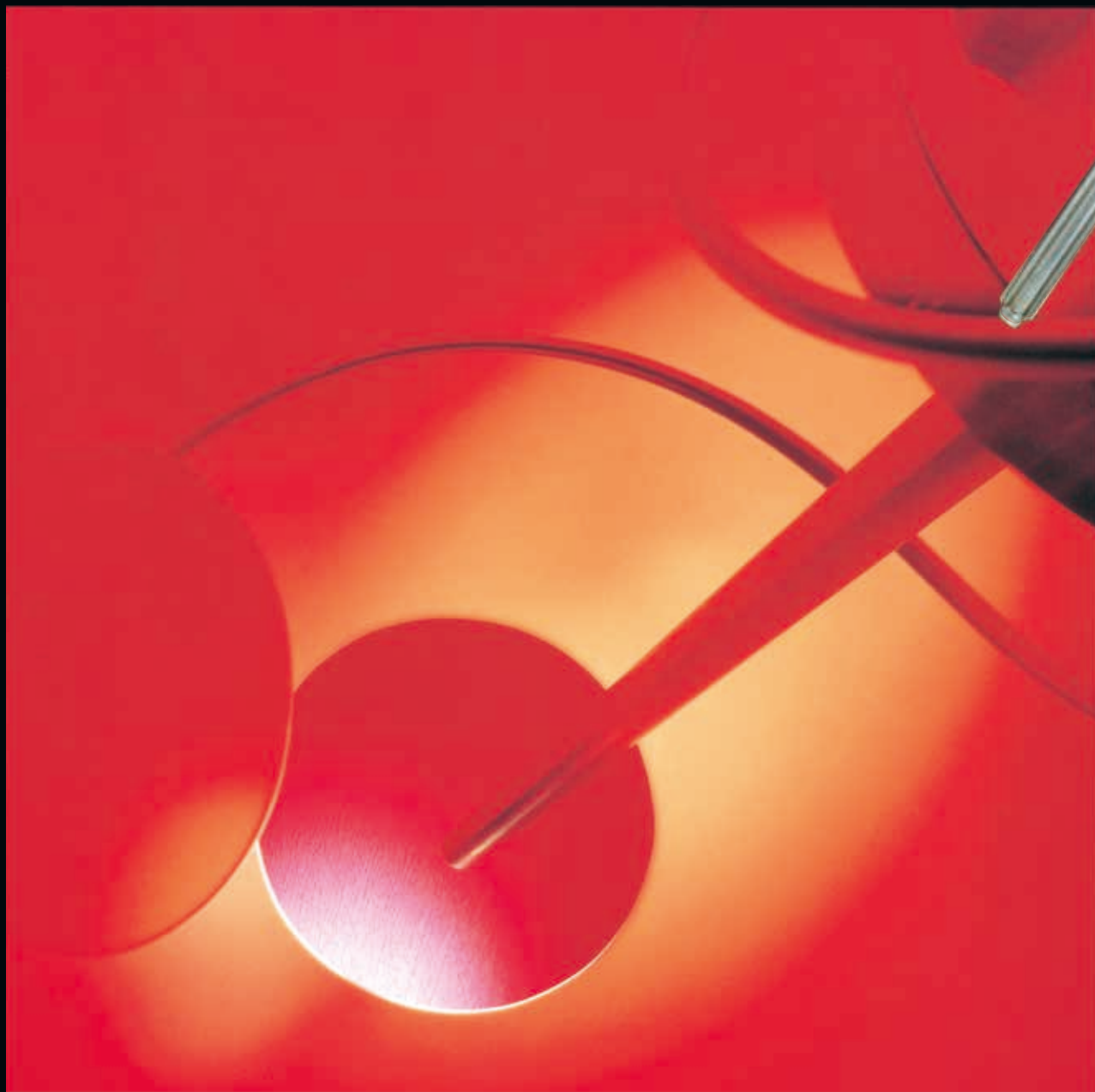
# Techtron

温度のスペシャリストとして

卓越した先端技術で可能性に挑み続ける。

コンピューター化が進む中、近年さまざまなセンサへの需要が高まっている。

新しいエネルギー開発、生産プロセスの効率化、そして省エネルギーへ —  
いま<sup>やま</sup>山里は温度という専門分野で、新しい役割を担ってさらに力強く作動しようとしている。



# nic



原始の時代から現在の原子力の時代に至るまで、人間は常にエネルギーとの戦いを繰り広げてきたといえます。当社はこの熱エネルギーを制御する温度センサの製造及び販売を行い、創業以来、幅広い産業分野の発展に貢献してまいりました。そして、コンピュータの急速な進歩の中、計測の自動化、システム化が叫ばれる今日、これら温度センサの役割りはより重要になってきたといえます。当社では、そうした社会背景のもと、より高精度、より高付加価値をもった製品の供給に取り組んでおります。需要家の皆様とともにさまざまな対象物、環境下にも対応できる製品作りを行ってまいりました実績をもとに、たゆみない研究開発と困難に立ち向かう不屈の精神で新たなチャレンジを続ける山里産業。今後とも、より皆様のニーズにお応えできま



すよう広い視野で「新時代に必要とされる技術集団」として歩んでまいりたいと考えております。

代表取締役  
**則 武 賢 介**

## 山里産業の歩み

### 果敢な チャレンジ・スピリットで 無限の可能性を拓ける。

昭和30年、温度測定の重要性に着目し、欧米諸国より輸入販売業務に着手した時から、山里の測温技術追求の歩みが始まりました。それは昭和37年に、自社での組み立て加工へと進み、さらに昭和41年には、合併会社山里エレクトロナイト(株)の設立により、消耗型熱電対の国産化実現へと発展。以来、蓄積された技術は多くのオリジナルブランドを生み出しました。この実績をベースに、今またさまざまな産業分野への対応を目指し、ヒータ産業への参入に加え国際規格であるISO9001及びISO14001の認証を取得。さらに通産省認定の温度校正事業者として、新たなサービス業務をスタートさせています。



## 温度センサの重要性と 企業のポジショニング

### 極低温から超高温まで。 温度分野の研究が 各産業界の可能性を拓く。

創業以来技術革新を続ける当社は、昭和61年に第6回科学技術振興功績者として科学技術庁長官賞を受賞するなど、広くその実績を認められています。しかし、超電導や新素材・新エネルギー開発など、新たな産業分野が出現する今日、測温技術の追求に終わりはないと私たちは考えています。各種産業における問題点を次々と開発に反映させて、温度という専門分野で多彩な研究開発に挑み続け各産業界の可能性を拓き、さまざまな企業の皆さまと未来の「夢」を共有したいと考えています。

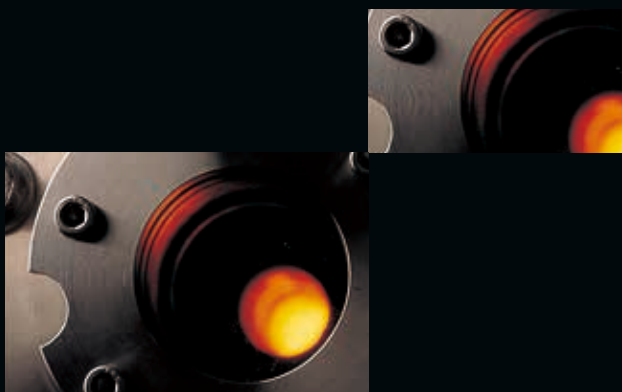
# ユーザーの利益を第一に考えた 的確なアドバイスがニーズをウォンツに変える。

さまざまな情報網を駆使して、各分野で望まれている最先端のテクノロジーを模索し、  
そこでの温度センサの役割を考える。

理想的なシーンを思い描き、そのイメージにフィットする製品を顧客に提案する — 。  
山里の営業・生産体制の基本である。



# Concept

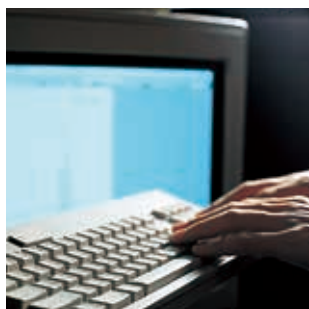


生産までのシステム

## 高度化するユーザーニーズに応えるエキスパートたち。

ユーザーのニーズも多種多様化。そして複雑化している時代の中で、製品開発の指針となるユーザーのニーズを汲み上げてくるのは、全国の支店・営業所・出張所のテクニカルアドバイザーというべき営業スタッフたちです。当社では、研究開発部門の強化に加え、お客様からの問いを的確に把握し、技術スタッフへと業務をつなげてゆくエキスパートとして

の役割が担える人材の育成にも力を注いでいます。新しい時代の可能性を問いかけ、提案し、表現できる企業へ。私たちは、さまざまな温度という分野でのプレゼンターであり続けたいと考えているのです。



貿易・輸出入

## ハイレベルな技術で世界をフィールドに。

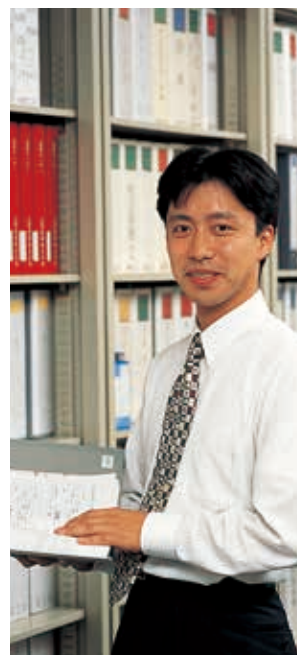
進んだ欧米諸国の技術輸入から始まった当社も、現在では、長年に培った自社技術力を輸出するまでにいたっています。その取引国は。アメリカ、イギリスを始め、ドイツ、スウェーデンなど広範囲にわたり、その製品は多くの国々で評価されています。また近年では、韓国、台湾などへのメーカーへ技術指導を行うなど、世界を舞台に活躍を続ける当社。業界全体のレベルアップにも大きく貢献しています。



## Live messages from YAMARI

営業部

確実なユーザーニーズの把握に加え、どれだけの高付加価値を製品に反映することができるかが、従来にも増して重要な課題とされる現在。納期や価格、迅速な対応等々、トータルな意味でのサービス向上はもちろん、私たちはより高い理想を追求するスペシャリストでなければならぬと考えます。そのため今後も需要家の皆様とのさらなるコミュニケーションの充実を計り、タイムリーな製品の提案を行いたいと思っています。



# 2000℃の壁。知的冒険心が新たな市場を切り拓く。

ユーザーニーズに端を発した、未来型商品の開発技術者たちは、  
トライ&エラーを繰り返し、チャレンジ精神と使命感により、  
温度という分野における山岳のテクノロジーをまた、一步前進させる。



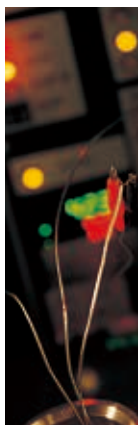
# Progress



生産機能・品質管理

長い歴史が培った品質システム。  
その実績と信頼でISO9001を取得。

鉄鋼・電力・石油化学を始め、  
さまざまな産業界に用いられる  
温度計測システムの先端に  
位置する検出部、それは、超  
高温・極低温など、使用諸条  
件に応じ多種多様な設計に  
なっています。つまり全製品が  
「個別仕様」。また、典型的な  
多品種少量生産による温度セ  
ンサは大量生産品並み、ある  
いはそれ以上の信頼性が求  
められる製品でもあるのです。  
研究データをもとにした完成  
までの検査、厳しい製品チェッ



ク。各々の分担の中で、製品が  
いかに正確に機能するかにか  
けるエキスパートたちの技術  
と情熱が大きな信頼に結びつ  
き、国際規格ISO9001を取得。  
生産から品質管理にいたるま  
で、一歩高い製品づくりを目指  
し続けています。



## Live messages from YAMARI

開発部

それぞれ設計の異なる温度セ  
ンサづくりの中でも、より困難  
な依頼を担当する企画開発部  
では、温度に限らない分野の  
センサ開発までも手掛けるこ  
とがあります。こうした複合セ  
ンサは、今後さまざまな可能  
性を内包しているだけに、興味  
深い研究テーマです。それだ  
けに、自社の技術知識のみに



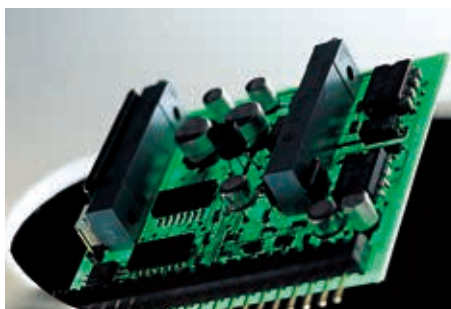
留まらず、素材など広く他の知  
識を吸収することは、我々に  
とって必要不可欠なのです。

新製品開発

## 未踏の高温世界へ。 他の測定分野へ。

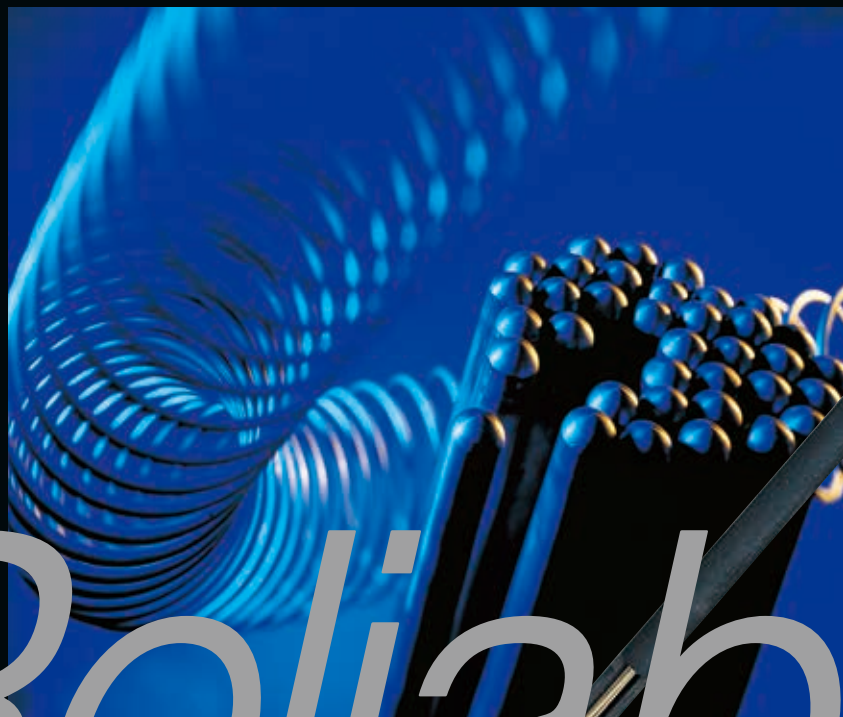
たとえば、超高温領域のよう  
に、人には知覚できない世界  
で繰りひろげられる生産の営  
み。それを捉え、伝える山里の  
温度センサは、現在では摂氏  
2000度という過酷な条件下で  
の高度な測定が可能になって

います。また、当社では、こうし  
た温度領域拡大にともなう技  
術向上を第1の柱として現在  
第2の柱ともいえる圧力、流  
速、歪、成分など、他の測定分  
野にも積極的に取り組んでい  
ます。



## 研究開発の結晶を全国にプロデュース。

熱電対線・シース熱電対の輸入から、高温用熱電対シリーズの完成まで、  
山里はあらゆる温度センサで、多様なニーズを  
高精度にサポートし続けている。



# Reliability





## 熱電対

貴金属・卑金属線を用いて低温から超高温までの工業用温度計測に、広く使用されている温度センサです。一般工業用熱電対や爆発の危険場所に用いられる防爆形熱電対などさまざまな用途に応じた製品をひとつひとつ製造しています。

- 保護管形熱電対
- シース熱電対 (THERMIC)
- 超高温用熱電対 (HT-THERMIC)
- 熱風炉・コークス炉用熱電対



## 測温抵抗体

温度に応じて金属線の電気抵抗値が変化する性質を用いて、極低温から高温までの工業用高精度温度計測に広く使用されている温度センサです。一般工業用測温抵抗体や爆発の危険場所で用いられる防爆形測温抵抗体などさまざまな用途に応じた製品をひとつひとつ製造しています。

- 保護管形測温抵抗体
- シース測温抵抗体 (RESIMIC)
- 細管形測温抵抗体 (RESISLIM)



## 温度センサ用付属品

熱電対及び測温抵抗体用の各種温度センサに必要なさまざまな付属品を取り揃えています。

- 補償導線
- 測温抵抗体用リード線
- サーモウェル
- 各種セラミックス製品
- 各種温度センサ用コネクタ
- 2線式温度伝送器



## 温度校正装置

(英国ISOTECH社製)

各種温度センサ、放射温度計などの校正試験を行うための校正装置。業務用の一次校正機関用モデルから実用型の産業用モデルにいたるまで幅広いバリエーションを用意し、取りそろえております。

- 三重点装置
- 定点装置
- 比較校正装置
- 放射温度計校正用黒体炉
- 標準白金抵抗温度計
- 0°C基準装置



## 委託温度校正業務

温度センサ、定点セルをはじめとする各種温度計測器の校正試験を当社標準室にて行ないます。JCSSマーク付など国家標準に対し、トレーサブルな校正証明書を発行致します。

- 計量標準供給制度 (JCSS) に基づく温度校正試験
- 比較校正装置
- 定点校正装置
- 現地校正サービス

## 放射温度計

当社取扱のドイツIMPAC2色放射温度計は低温300°C～高温3300°Cまで対応でき、高精度(測定値の0.4～0.7%)且、カラーTV映像が同時に計測できます。又、燃焼ガスCO<sub>2</sub>温度を計測できる特殊な放射温度計を含め一般放射温度計など様々なラインナップを取り揃えています。



## 成分濃度センサ

溶銅中、または燃焼ガス中の酸素濃度を計測する酸素センサ、熔融亜鉛浴中のアルミ濃度を連続測定するアルミ濃度センサなど、工業用に用いる各種センサを開発し、製造しています。

- METAL-OX酸素センサ
- アルミ濃度センサ



## ヒータ

工業用加熱に広く用いられている電熱ヒータをはじめ、特殊ヒータエレメントを使用した各種ヒータを、真空用、半導体工業用など、さまざまな加熱装置の用途に合わせて設計し、製造しています。

- マイクロヒータ
- 自己制御型ヒータ
- 各種用途別ヒータ



# Global network

## 国内拠点網



## 海外拠点網



## DATA — 海外主要取引先

- Ceram.tec AG (Germany)
- Grand Expert Ltd. (Taiwan)
- Hamitherm b. v. (Nether lands)
- W. Haldenwanger GmbH & Co. KG (Germany)
- Idaho Laboratories Corp. (U.S.A)
- Isothermal Technology Ltd. (England)
- Labfacility Ltd. (England)
- Leico Industries, Inc. (U.S.A)
- Marathon Sensors Inc. (U.S.A)
- Marlin Manufacturing Corp. (U.S.A)
- M. I. Cable Technologies Inc. (Canada)
- MiL GmbH (Germany)
- Omega Engeneering, Inc. (U.S.A)
- Rhenium Allyos Inc. (U.S.A)
- Sensing Devices Ltd. (England)
- Thermal Developments International Ltd. (England)

## DATA — 会社沿革

- S30.5 熱電対およびその関連器材の輸入販売を始める。
- S36.8 東京支店開設。
- S37.1 英国BICC社と日本総代理店契約を結びシース熱電対線の輸入を開始。
- S37.5 英国BICC社との技術提携により熱電対の加工組立を開始。
- S39.5 北九州営業所開設。
- S40.1 本社新社屋完成。
- S42.5 北九州工場開設。
- S44.1 長崎営業所開設。
- S45.5 高槻工場開設。
- S45.7 大分営業所開設。
- S45.10 大阪中小企業投資育成(株)の資本参加を受ける。
- S53.4 精密機器メーカーの(株)鈴木精器工業所を系列に加え、温度センサの組立加工も開始。
- S58.11 水島営業所開設。
- S60.4 名古屋営業所開設。
- S61.8 山里精器(株)を出資設立し、機械加工部門を分離。
- S61.10 山藤技研(株)を出資設立し、梱包発送部門を分離。
- H3.5 長崎工場開設。
- H5.4 加古川営業所開設。
- H6.8 計量標準供給制度(JCSS)認定事業者資格取得。  
温度校正業務を開始。
- H7.1 高槻工場にヒータ工場を増設。
- H7.3 国際規格ISO9001認証取得。
- H7.4 福岡営業所開設。
- H7.10 カナダ合併会社 M. I. CABLE TECHNOLOGIES, INC 設立
- H9.4 JCSSガラス製温度計校正業務開始。
- H9.11 シンガポールに合併会社サーモセンサーテクノロジー社設立。
- H12.8 ヤマリセンサシステム設立。
- H13.7 JCSS 認定温度範囲拡大-40~420°C  
ガラス製温度計 -50~350°C
- H13.10 セラサーモ製造開始  
タングステン・レニウム熱電対開発販売開始。
- H15.8 大阪精工設立(商圏買収)。
- H16.5 高槻に新社屋・工場建設。
- H16.7 高槻工場 ISO14001 認定取得。
- H17.11 第2工場建設。
- H18.4 韓国山里設立。  
日本国初の温度計-30~1100°C 現地校正のJCSS認定取得。
- H19.9 JCSS認定温度範囲拡大-40~1554°C
- H19.12 横浜営業所開設。
- H20.1 第3工場建設。
- H20.11 シース熱電対のJISマーク認定取得
- H21.1 JCSS認定温度範囲拡大-196~1554°C
- H22.4 加古川営業所移転し、高砂営業所として営業開始。
- H22.12 水島営業所移転し、岡山営業所として営業開始。
- H24.3 高槻にヤマリMIケーブル(株)を設立
- H24.12 インドにYamari India Temperature Sensor Pvt Ltdを設立
- H25.8 広島営業所開設  
第4工場を建設。
- H26.10 則武正平 代表取締役会長、則武賢介 代表取締役社長に就任
- H28.10 ハザマ測器㈱を吸収合併  
横浜営業所と統合・移転

## DATA — 会社概要

- 商号  
山里産業株式会社
- 本社所在地  
大阪府高槻市三島江1丁目5番4号
- 設立  
昭和30年5月27日
- 資本金  
7,000万円
- 役員  
代表取締役 則武 賢介  
代表取締役 則武 正平  
常務取締役 水阪 隆蔵  
監査役 則武 和子
- 社員数  
284名(2016/10現在)
- 関連会社  
山里エステイト株式会社  
山里精器株式会社  
ヤマリパッケージシステム株式会社  
有限会社ヤマリセンサシステム  
株式会社鈴木精器工業所  
YKC (韓国)  
大阪精工株式会社  
MICT (カナダ)  
YSG (シンガポール)  
YIN (インド)
- 取引銀行  
三井住友銀行  
三菱東京UFJ銀行

D a t a



YAMARI INDUSTRIES, LIMITED

山里産業株式会社

- 本 社 大阪府高槻市三島江1丁目5番4号 〒569-0835  
Tel.072-678-3453(代) Fax.072-678-3516
- 東 京 支 店 東京都港区芝3丁目3番15号 (芝MONTビル) 〒105-0014  
Tel.03-3454-3691(代) Fax.03-5442-7815
- 横 浜 営 業 所 横浜市神奈川区立町6番1号 (ANN I 横浜EAST4F) 〒221-0063  
Tel.045-438-4566(代) Fax.045-438-4568  
パイロメーター営業部 Tel.045-438-1191(代) Fax.045-438-1192
- 名 古 屋 営 業 所 東海市荒尾町寺下29番地1号 〒476-0003  
Tel.052-689-5611(代) Fax.052-601-5951
- 高 砂 営 業 所 高砂市高砂町浜田町1丁目9番4号 〒676-0022  
Tel.079-444-1300(代) Fax.079-444-1301
- 岡 山 営 業 所 倉敷市水島東川町8番25号 (ナッビル202) 〒712-8021  
Tel.086-448-5421(代) Fax.086-444-9149
- 広 島 営 業 所 広島市南区的場町1丁目2番21号 (広島第一生命OSビル8F) 〒732-0824  
Tel.082-568-5099(代) Fax.082-568-5098
- 北九州営業所 北九州市八幡東区枝光本町8番15号 〒805-0008  
Tel.093-671-5834(代) Fax.093-662-3652
- 長 崎 営 業 所 長崎県長崎市香焼町3021番14 〒851-0310  
Tel.095-871-0115(代) Fax.095-871-1001
- 大 分 営 業 所 大分市松原町3丁目4番20号 (SAKURA2 2F) 〒870-0913  
Tel.097-558-3222(代) Fax.097-552-3131
- 高 槻 工 場 高槻市三島江1丁目5番4号 〒569-0835  
Tel.072-678-1313(代) Fax.072-679-2006
- 長 崎 工 場 長崎県長崎市香焼町3021番14 〒851-0310  
Tel.095-871-0115(代) Fax.095-871-1001

ホームページアドレス  
<http://www.yamari.co.jp>

製作日28年11月1日